



編集／東濃厚生病院広報委員会

## 理念

歩みいる者に やすらぎを  
去り行く人に 幸せを

私たちは地域の皆様に愛され、親しまれ、  
そして信頼される病院を目指します。

## 行動目標

1. 私たちは日々研鑽に励み、患者さんの立場にたった質の高い医療の提供に努めます。
2. 全職員が患者さんの窓口となり、真心と笑顔で患者さんに接します。
3. 患者さんの言葉を最後まで聴き、患者さんが理解できるよう分かりやすい言葉で説明します。



# 年頭のご挨拶



岐阜県厚生農業協同組合連合会  
経営管理委員会会長

堀尾 茂之

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、格別なるご高配を賜り厚くお礼申し上げます。平成28年の年頭にあたり、皆様に言ふ挨拶申し上げます。

昨今の医療を取り巻く環境は、急速な少子高齢化が進むなか、団塊の世代が75才以上を迎える平成37年（2025年）を前に社会保障制度の行き詰まりが懸念されています。国は、社会保険と税の一體改革として、医療・介護サービス強化のため、「地域包括ケアシステム」の構築や患者のニーズに応じた病院・病床機能の役割分担など、医療と介護の連携強化を通じて、より効率的・効果的で質の高い医療提供体制の整備を図ることを目指しています。

平成27年4月からは、「地域医療構想策定ガイドライン」に基づき、医療の提供体制が「つの病院で完了する「病院完結型」から、地域全体で急性期から回復期、在宅療養に至るまで切れ目ない医療を提供する「地域完結型」への転換が進められ、同時に高齢化の進展に伴う疾病構造の変化から、「治す医療」

から「治し、支える医療」への転換が求められています。

医療や介護が必要な状態になつても、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続できるような生活環境づくりと健康寿命の延伸の観点から予防・健康づくりへの取組みがますます重要となつてきます。

このような情勢のなか、本会においても、地域の医療提供体制と医療需要を検証し、地域医療構想における病床機能の再編を視野に入れたうえで、公的医療機関として、また、地域の中核病院として、良質な医療を持続的・安定的に提供できるよう経営基盤の確立を図り、救急医療、がん診療、生活習慣病の予防や介護の支援、災害時における医療チーム派遣など、地域医療に貢献していく所存であります。

# 年頭のご挨拶



病院長

塚本 英人

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

少子高齢化、人口減少、社会保障費の増大と医療環境は厳しさを増すばかりです。国、県の行政は地域医療構想を策定し、団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて各医療圏の必要病床数を推計し、それに基づきこの東濃地域においては全体で現状より500床前後病床を削減し更に急性期病床から回復期病床への変換を促すという案も提出されており病床機能の再編、統廃合は避けられないものとなつてまいりました。特に本年はその大きな転換点となると考えられます。幸い当院は1月ならびに4月に小児科を含む医師の増員が見込まれ、救急をはじめとした医療体制の充実を図れるものと考えております。更に、消化器病センターを開設し消化器疾患に関する高度な医療を提供すると共に、2次検診を含めた検診事業や予防医療にさらに貢献できるものと考えます。また、国は医療費の観点からもなるべく住み慣れた地域で在宅を中心に皆で助け合い、見守りながら生活する地域包括ケアを推進する様提唱し、地域包括ケア病棟なども開設さ

れております。包括とは多職種が協働を行うという意味ですが、地域包括ケア病棟に入院しても本来の地域の受け皿が完備されていなければそこから先が滞ってしまいます。幸い瑞浪、土岐、恵南は其々の地区ごとに意識も高く、まとまっています。従いまして、まず地域の医療環境の整備を進めるべく、今後は病院をキーステーションとし各地区へ出てリハビリ、訪問看護、栄養士、薬剤師などチーム医療による包括ケアの実践、行政やNPO団体との連携を緊密に行うと同時に、保健師等による地域のよろず相談や見守りを実践し、かかりつけ医の先生方を中心としたネットワークを構築し、医療連携の強化を行い、地域の健康管理、医療の維持を推進し、あらゆる職種の人々がそれぞれの立場から地域の人々を見守り、地域の声を聴き協力、支援できるように体制を整え、健康にそして安心して暮らせるよう、できる限りの医療を提供していきたいと考えております。最後になりましたが皆様方のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

# 電子カルテシステム導入について



医事課 事務職員

小川 賢祐

当院は平成27年10月13日より、電子カルテシステムが導入されました。電子カルテシステムとは、診察記録や看護記録、検査結果、レントゲン画像といった患者さんの情報をパソコンにて管理するシステムです。近年では、電子カルテシステムの利便性の良さから様々な診療科を持つ総合病院には欠かせないシステムとなっています。従来の紙カルテでは、手元にカルテがないことで診察がスムーズに進まないことや、診療科別でカルテが作成されていることから、他科の診察状況の把握に時間を要していました。電子カルテシステムになったことで、こういった問題も解消され、正確な診察状況等が把握できることにより、患者さんの待ち時間の短縮に繋がると考えています。

また、患者さんの待ち時間をより短縮するために、診察の前に採血やレントゲン撮影等の検査がある場合には、その検査を診察の前に行つていただくよう患者さんの流れを変更させていただきました。従来は、受診科の受付にて診察の前に検査等があるかないかを確認しておりましたが、電子カルテシステム導入後は、受付をしていただいた際にお渡しております、「外来受

診票」に検査等の有無を印字するよう様式を変更し、受診科の受付で確認をすることなく、直接検査等へ行つていただけるようになりました。患者さんの無駄な導線を解消することができました。入院病棟においては、ノートパソコンを用いることで患者さんのベッドサイドにて情報を確認し、診察、看護を行うことができます。その中でも従来の紙カルテに変わり電子カルテシステムが導入され、大きく変わった点の一つとして、患者認証機能があります。患者認証機能では、患者さんに注射や点滴を実施する際、患者さんのリストバンドのバーコードと、注射や点滴に貼付してあるバーコードを照合しなければ実施が出来ないという機能です。医師が処方した薬剤は、患者さんの状態により変更が行われます。電子カルテでは、そういった情報もリアルタイムで更新しており、もし仮に看護師が薬剤の変更を知らなかつた場合であっても、患者さんのリストバンドのバーコードと注射や点滴のバーコードを照合した際、エラーが発生し、患者間違い等のアクシデントを未然に防ぐことができます。

電子カルテシステム導入当初は操作の不慣れや、運用変更等に伴い患者さんに大変ご迷惑をお掛け致しました。まだまだ不十分な点も多くあると思いますが、今後も修正を加え、患者さんの立場に立つた安心で、安全な医療が提供できるよう努めてまいります。

# 農業祭・健康まつりに参加して



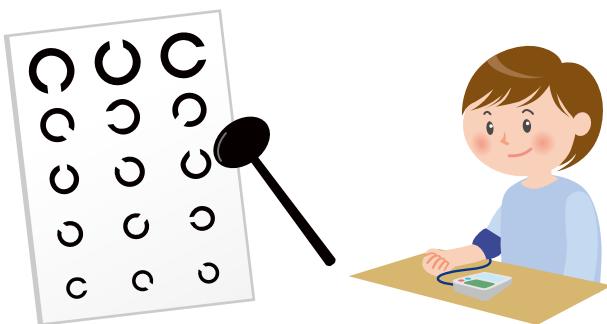
地域保健課 事務主任

側島 龍朗

毎年「JAとうと」、「JAひがしみの」が農産物の地産地消を目的として開催する農業祭が、11月8日、11月15日に行なわれ参加しました。また、瑞浪市が健康に関するPRとして開催する「瑞浪市健康まつり」が、11月23日に行なわれ、こちらにも参加しました。

会場では、血圧測定、血管年齢測定、骨密度検査、視力検査等の検査に加え、肝機能・貧血の血液検査や、乳がん自己検診の啓発を行い、各会場を合わせ約630名の方々が当院のブースに来られました。

来訪者からは、「毎年ここで血圧を測つてもらっているよ」という声や「生活習慣について相談したい」「病院を受診するにはどうすればよいか」等の声も聞かれ、様々な相談にも対応し、来訪者の方々とふれあうことで、元気と笑顔をいただきました。今後も当院は各行事を通じ、地域の皆様の健康を支えていきたいと考えております。



# クリスマスコンサート開催



総務課 事務職員

長尾 華奈

東濃厚生病院ハンドベル部は、平成27年8月頃からメンバーの募集の募集を行い、本格的に練習を始めたのは、10月からでした。麗澤瑞浪中学・高等学校の伊藤先生指導の元、毎週水曜日の業務終了後、練習に励みました。メンバーは、研修医の先生を始め、薬剤師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、言語聴覚士、事務職員の合計10名で構成されています。

ハンドベル初心者が多く、初めは息のあつた演奏が出来なかつたり、練習時間に全員が集まれなかつたりすることもありましたが、一生懸命練習をしてきました。

そのようななか、12月18日（金）に病院の正面玄関ホールにおいて、クリスマスコンサートを開催しました。開催が決まつてからは、ポスターが正面玄関や病棟など院内の各所に掲示され、患者さんや職員に告知できた一方、メンバーの緊張は高まるばかりでした。





最後になりましたが、ハンドベル部の活動にあたり、院内の各部署のみなさんに協力をしていただいたこと、この場を借りてお礼申し上げます。

うちに終わることが出来ました。病院というと、少し暗く、さみしいイメージをお持ちの方も多いかと思いますが、天使のハーモニーとも称されるハンドベルで美しい音色で、少しでも患者さんの心を癒すことができたらいいと思います。

また、去る12月5日（土）には、瑞浪市内の障害者支援を訪問して、演奏会を開催しました。施設入所者の方が、手をたたくなどして楽しそうに聞いていただき、私たちのほうが元気を頂いたくらいでした。今後も地域の皆様に親しまれる病院となるべく、このような活動を継続的に行っていきたいと思つています。

JA岐阜厚生連 東濃厚生病院

## 外来診療表

平成28年1月1日

科名	月	火	水	木	金	備考	
内科	第1・3・5週 初診	伊藤和則 〔腎臓〕	宮本陽一 〔消化器〕	山田益丈 〔総合〕	西尾克彦 〔リウマチ〕	神田裕大 〔消化器〕	・血液内科 第2木 午後
	第2・4週	柴田尚宏 〔呼吸器〕	吉田正樹 〔消化器〕	浅野慎介 〔腎臓〕	長屋寿彦 〔消化器〕	澤崎貴子 〔腎臓〕	・CAPD外来 毎週月 午後
	1診	荒田真子 〔消化器〕	塚本英人 〔循環器〕		加藤宏雄 〔循環器〕	朱宮孝紀 〔循環器〕	・フトケア外来 第3週、第4週木 9:00~16:00(予約制)
	3診					荒田真子 (1・3・5)	・睡眠時無呼吸外来 毎週木 13:00~15:00(予約制)
	4診						
	5診						
	6診						
	7診						
	8診						
	9診						
	10診						
神経内科	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司		
小児科	齋藤明子	市川大輔	佐々木明	佐々木明	佐々木明		
外科	1診	宮嶋則行	安藤修久	宮嶋則行	今澤正彦(1・3・5) 山村和生(2・4)	安藤修久	・ストーマ外来 第1木・第3金・第4水 9:00~12:00(予約制)
	2診	今澤正彦(1・3・5) 山村和生(2・4)	内田大樹	大谷 聰	清水 大	大谷 聰	・ヘルニア外来 毎週金 8:30~11:30
脳神経外科			梶田泰一				
皮膚科	1診	稻垣克彦	稻垣克彦	稻垣克彦	秋山真志	松本高明	・午後診察 毎週火・木 14:30~16:30
	2診				稻垣克彦		
整形外科	1診	栗本秀(手の外科) (9:30~11:30)	佐藤 央	前川誠治	大間知孝顕	前川誠治	・スポーツ外来 毎週木 16:00~
	2診	前川誠治	大間知孝顕	大間知孝顕	佐藤 央	平石 孝	
	3診	平石 孝					
産婦人科	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝		
眼科	1診	石神裕子	石神裕子		金田正博	石神裕子	
	2診				天野喜仁		
耳鼻咽喉科	1診	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	水谷俊太郎	・補聴器外来 毎週月・火 第2・3・4・5水 15:00~ (予約制)
	2診	岩下利恵	和田健一		小川徹也	岡本啓希	・嚥下外来 毎週木 14:30~15:30(予約制)
				稻福 繁 (第4)			
泌尿器科	小出卓也	小出卓也	小出卓也	小出卓也	秋田和利		
人間ドック診察	第13.5	山瀬裕彦	西尾克彦	山瀬裕彦	西尾克彦		
	第2.4				伊藤和則	加藤敏夫	

看護職員さん  
募集東濃厚生病院では、広く看護職員を募集しています。現場から長期に離れた方でも大歓迎です。  
ご自分の能力を患者さんのために役立ててみませんか。お待ちしております。

資格 保健師・看護師 年齢 不問

連絡先 東濃厚生病院 総務課及び看護部長室 TEL 0572-68-4111



受付時間  
8:30~11:30  
休診日  
土曜・日曜・祝日  
面会時間  
13:00~20:00

東濃厚生病院  
〒509-6101 瑞浪市土岐町76番地1  
TEL 0572-68-4111  
FAX 0572-68-8934

健康管理センター(人間ドック)  
TEL 0572-68-4426  
FAX 0572-68-9458  
訪問看護ステーション あゆみ  
TEL 0572-68-8625  
FAX 0572-68-8625